

# テトス

への手紙

②

# 「恵みの内に 恵みによって」

テトスへの手紙 2章 個々の適用・神の恵み

# アウトライン

## 0. イントロダクション

I. 一人一人の適用 1～10節

II. 神の恵み 11～15節

## III. まとめと適用

恵みの内に 恵みによって

成長させられていこう



## テトスへの手紙とは？

- 著者 …使徒パウロ
- 宛先 …クレタの教会を指導中のテトス
- 執筆時期・場所 …不明  
使徒の働きの文脈に位置づけるなら…  
→パウロが、ローマに移送された後？！
- 目的 …牧会書簡(テモテ、テトス)  
牧会上の実践的な助言。励まし。



## テトスとは？

- 使徒パウロの同労者。  
…「使徒の働き」には名前はない。  
Ⅱコリント、ガラテヤ、Ⅱテモテ
- ギリシャ人(ガラテヤ2:3)  
パウロに信仰に導かれた(テトス1:4)
- 第三次伝道旅行 …コリントの手紙を託される  
…エルサレムにパウロと同行(ローマ行きも?)
- クレタの教会を託される。  
パウロの死の直前はダルマテヤ(ユーゴスラビア)へ





I. 一人一人の適用 テトス 2章1～14節

クレタの港

## 奨励 年齢にふさわしい実 テトス2:1~2

しかし\*、あなたは健全な教えにふさわしいことを語りなさい。

年配の男の人\*には、自分を制し、品位を保ち、慎み深く、信仰と愛と忍耐において健全であるように\*。

\*偽教師のようではなく(前章)

\*老人、年寄り …年齢を強調する言葉

\*“勧めなさい(口語、新共)”

■ 信仰者は、年齢を重ねた者も、長老同様の人格的成長の実が求められる。



## 奨励 欲望からの解放 テトス2:3

同じように、年配の女の人\*には、神に仕えている者にふさわしくふるまい、人を中傷せず、大酒のとりこにならず\*、良いことを教える者であるように。

\*老女(当時は60歳以上)

\*“奴隷にならず(口語)”

■「大酒」は、人を奴隷とする欲望の代表。

自分の欲望や、中傷や噂話に躍らされない、人格的成長を果たしてきているか？



## 奨励 女性のつとめ テトス2:4~5

そうすれば、彼女たちは若い女の人に、夫を愛し、子どもを愛し、慎み深く、貞潔で、家事に励み、善良で、自分の夫に従順である\*ように諭すことができます。神のことばが悪く言われることのないように\*するためです。

\*家庭の中で第一に女性に求められる働き

- 女性に対する奨励が多いのは、他と同様。
- 従順な母、妻として、世にも認められ、生活を通して証しすることが求められる。



## 奨励 若い男への勧め テトス2:6

同じように、若い人\*には、あらゆる点で思慮深くある\*ように勧めなさい。

\*テトス(3~40歳?)も対象。

\*正気である(マルコ5:15)、  
心を整える(1ペテ4:7)

➔神の知恵によって、思慮深くある

■若い男への勧めは、一言だけ。

➔まずは何より、主に聴くこと!!



## 奨励 指導者への勧め テトス2:7~8

また、あなた自身、良いわざの模範となりなさい。人を教えることにおいて偽りがなく\*、品位を保ち\*、非難する余地がない健全なことば\*を用いなさい。そうすれば、敵対する者も、私たちについて何も悪いことが言えずに、恥じ入ることになるでしょう。

\*“腐敗していない” …純正、清廉

\*威厳、謹厳をもって …主に対する真剣さ

\*主の御心に沿う、正しい聖書理解は大前提。



## 奨励 奴隷への勧め テトス2:9~10

奴隷には、あらゆる点で自分の主人に従って、喜ばれる者となるようにし、口答えせず、盗んだりせず、いつも善良で信頼できることを示すように勧めなさい。それは、彼らがあらゆる点で、私たちの救い主である神の教えを飾る\*ようになるためです。

\*片付ける(マタイ12:44)…整えられた状態

→主によって整えられた状態

御言葉によって日々整えられているか？





Ⅱ. 神の恵み      テトス 2章11～15節

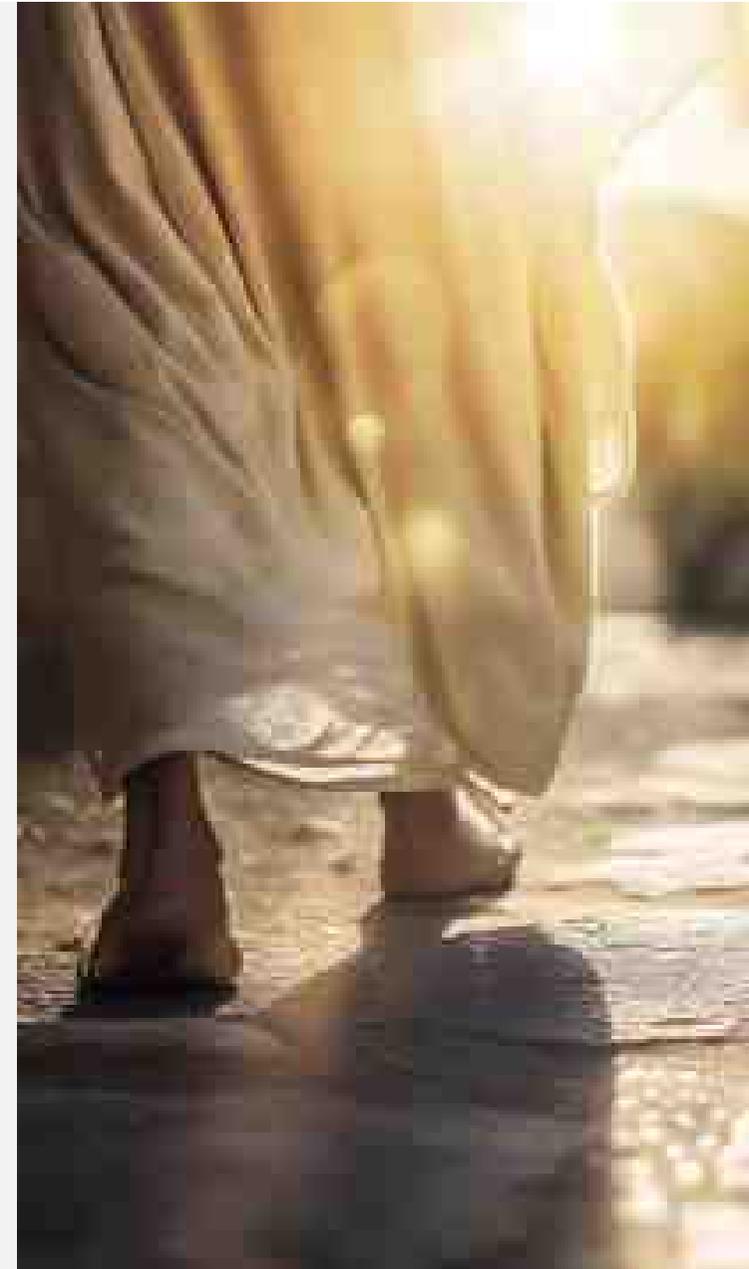
## 奨励 すべての勧めの根拠 テトス2:11~13

実に、すべての人に救いをもたらす**神の恵み\***が現れたのです。

その**恵み\***は、私たちが不敬虔とこの世の欲を捨て、今の世にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある現れを待ち望むように教えています。

＊**神の約束に基づく一方的な恵み** ➔福音

■恵みにより救われ、再臨の主を待ち望む



## 奨励 キリストの贖い テトス2:14

キリストは、私たちをすべての不法から贖い出し、**良いわざに熱心な選びの民\***をご自分のものとしてきよめるため、私たちのためにご自分を献げられたのです。

**\*イスラエルと異邦人の残れる信仰者**



## 奨励 語り続けよ テトス2:15

あなたは、これらのことを十分な(権威をもって\*)語り、勧め、戒めなさい。だれにも軽んじられてはいけません。

\*原文にはない。「主の命令を十分に語れ」

→権威は、結果として主が伴われるもの

\*軽んじられないようにしよう(Let)

→「なめられるな」なんて話ではない!!

■現実には、信仰者は軽んじられ侮蔑される。  
主に選ばれた民の自覚を失わないこと!!





### Ⅲ. まとめと適用

恵みの内に 恵みによって  
成長させられていこう

## 年齢や立場にふさわしい信仰の成長の実を結んでいるか？

- 老人へ …自分を制し、品位を保ち、慎み深く、信仰と愛と忍耐において健全である
- 若者へ …あらゆる点で思慮深くある
- 老女へ …神に仕えている者にふさわしくふるまい、人を中傷せず、大酒(欲望)のとりこにならず、良いことを教える
- 若い女性へ …夫を愛し、子どもを愛し、慎み深く、貞潔で、家事に励み、善良で、自分の夫に従順である。

## 年齢や立場にふさわしい信仰の成長の実を結んでいるか？

■指導者へ …良いわざの模範。人を教えることにおいて偽りが無い。  
品位を保ち、非難する余地がない健全なことばを用いる。

➡誰かを導くべき、信仰者すべてにも、求められていること。

■奴隷へ …あらゆる点で自分の主人に従って、喜ばれる者となる。  
口答えせず、盗んだりせず、いつも善良で信頼できる。  
あらゆる点で、救い主である神の教えを飾る。

➡「神のしもべ」であるすべての信仰者が従うべきこと

## 神の恵みを受けた者に求められていること

「不敬虔とこの世の欲を捨て、今の世にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある現れを待ち望む」

テトス2:12~13

➡神の恵みである、主イエス・キリストが求められていること!!

■自分の意思や努力によってできることではないと覚えよう。

➡恵みによって救われ、恵みによって変えられていく!!

## 指導者テトスへの促しに学ぼう

「あなたは、これらのことを十分な(権威をもって)語り、勧め、戒めなさい。だれにも軽んじられてはいけません。テトス2:15」

➡恵みの御業を「十分に語り、勧め」、御言葉をもって「戒める」

■常に第一とすべきは、聖書の御言葉。

御心に沿った、正しい聖書理解に基づく適用は、大前提。

■主イエスの十字架の贖いと復活の福音を、再臨の主、神の国を聖書に学び、告白し、宣言し、解き明かしていこう。

## ★ 恵みの内に、恵みによって ★

- 何よりも第一に、御言葉を慕い求め続けよう。➡御心に沿って恵みによって救われ、恵みの内に私たちは成長させられていく。
- 身に覚えのないことで、軽んじられ、侮蔑されるのが十字架の道。しかし、軽んじられないように。堅く主の約束に立ち続けよう。主の目に聖なる民とされた、神の視点で、**主の恵みをこそ誇ろう。**
- 「誇る者は、主を誇れ」 **まっすぐに、主の御顔を仰ぎ見よう。**主が、打ち砕かれたこの身を高く挙げてくださる。

「<sup>てん</sup>天の<sup>とう</sup>お父さま。わたしは、あなたに<sup>そむ</sup>背き、<sup>つみ</sup>罪を<sup>かさ</sup>重ねてきました。  
<sup>ひび</sup>日々<sup>おか</sup>犯してしまう<sup>つみ</sup>罪をも<sup>こくはく</sup>告白します。この<sup>つみ</sup>罪をゆるしてください。

わたしは、<sup>かみ</sup>神の<sup>こ</sup>み子イエス・キリストが、  
<sup>つみ</sup>あがな<sup>じゅうじか</sup>し

①わたしの<sup>つみ</sup>罪を<sup>あがな</sup>贖うために<sup>じゅうじか</sup>十字架で<sup>し</sup>死に、

<sup>はか</sup>はか<sup>ほうむ</sup>ほうむ

②<sup>みつかめ</sup>墓に<sup>ふっかつ</sup>葬られ、

<sup>しん</sup>三日目に<sup>しん</sup>復活した<sup>しん</sup>こと、を<sup>しん</sup>信じます。

③三日目に<sup>しん</sup>復活した<sup>しん</sup>こと、を<sup>しん</sup>信じます。

この<sup>めぐ</sup>恵みによって、私は<sup>すく</sup>救われ、<sup>めぐ</sup>恵みによって<sup>か</sup>変えられていきます。

<sup>しゅ</sup>主の<sup>みことば</sup>御言葉に<sup>ひび</sup>日々<sup>した</sup>親しみます。御<sup>みことば</sup>言葉を私の力としてください。

<sup>しんこう</sup>信仰のゆえに、<sup>かる</sup>軽んじられ、<sup>あなど</sup>侮られる時が私たちにはあります。

あなたの<sup>えら</sup>選びの<sup>たみ</sup>民とされた、この<sup>しんじつ</sup>真実に<sup>ほこ</sup>誇りをもって立たせてください。

<sup>しゅ</sup>主イエス・キリストの<sup>な</sup>み名によって<sup>いの</sup>祈ります。　アーメン」